

JSA 神奈川支部通信

No. 8 August 2024 日本科学者会議神奈川支部 発行

事務局長：☎230-0071 横浜市鶴見区駒岡 3-30-G-408 飯岡ひろし

HP：<https://jsa-kanagawa.jp>、携帯電話 080-1987-0994、E-mail：jsa.kanagawa@gmail.com

年会費 10800 円、院生・読者 5400 円 ゆうちょ銀行振替口座 0280-1-12774 日本科学者会議神奈川支部

この号の目次

- ◆ 原水爆禁止 2024 年世界大会科学者集会：ビキニ被災 70 年から被爆 80 年へ 集会実行委員会
- ◆ 日本体育大学法学研究室主催憲法市民講座のお知らせ 清水雅彦
- ◆ 日本科学者会議神奈川支部第 60 回大会記念講演の報告 飯岡ひろし
- ◆ 安保法制違憲かながわ訴訟東京高裁控訴審で「いずれも棄却」の不当判決 後藤仁敏
- ◆ 第 5 回山中市政を進める市民のつどいの報告 後藤仁敏
- ◆ 4 区市民連合が衆議院選挙勝利市民集会を開催 市民と野党の共闘で政権交代を 後藤仁敏
- ◆ 根岸線沿線九条の会連絡会が安田菜津紀さん講演会を開催 後藤仁敏
- ◆ 未完成の量子重力理論の現状紹介：「超ひも理論」と「ループ量子重力理論」 北山宏之
- ◆ 都知事選の真実—小池庄勝、石丸健闘、蓮舫惨敗は事実か？ 後藤仁敏
- ◆ 能登半島地震の災害普及と広域水道 飯岡ひろし

原水爆禁止 2024 年世界大会科学者集会：ビキニ被災 70 年から被爆 80 年へ

科学者集会実行委員会

1954年3月、太平洋マーシャル諸島のビキニ環礁でアメリカが行った水爆実験により、焼津のマグロ漁船・第五福竜丸をはじめとした漁船と多くの人々が被爆してから今年で70年。今年の原水爆禁止2024年世界大会 科学者集会では、第五福竜丸のビキニ被災の実相を確認するとともに、原水爆禁止運動の当面の課題である「核兵器禁止条約への日本政府の参加」を実現する道を探っていきたいと思います。



テーマ：ビキニ被災70年から被爆80年へ 核兵器禁止条約への日本政府の参加を求めて

日時：2024年 7月27日(土)13:00～16:00

会場：静岡大学静岡キャンパス内共通教育L棟204教室（静岡市）

会場&オンライン ハイブリッド開催（zoom）

動画放映：焼津市歴史民俗資料館「第五福竜丸被災70年特別展」を訪れて～静岡大学生2人が学芸員とともに第五福竜丸被災について学ぶ～

講演1：ビキニ水爆実験被災の現代的意味と課題～隠され続けるグローバルヒバクシャ/隠され続ける核被災文書～ 高橋博子（奈良大学文学部教授）

講演2：ビキニで被災した漁船員被害の広がりとその後の調査 間間 元（静岡県保険医協会/生協きたはま診療所）

講演3：ビキニ被災70年から被爆80年へ～非核日本キャンペーンの意義～ 木藤 功（原水爆禁止静岡県協議会理事長）

総合討論：核兵器禁止条約への日本政府の参加を求める

参加申込み：下記URLか右のQRコードからお申し込み下さい。オンライン参加の方には後ほどzoomのリンク等をお知らせします。 <https://qr1.jp/bDYvIj>

主催：原水爆禁止2024年世界大会科学者集会実行委員会 jsa.shizuoka@gmail.com



憲法に関心はありますか？

中学・高校の社会科・公民科で学び、国の基本法として誰もが「よく知っている」はずの日本国憲法。しかし、前文や第9条の条文、キーワードを暗記していることが「よく知っている」ことでしょうか？ どのような権利・自由が憲法で保障されているのか「よく知っている」としても、現実社会の中で何が憲法問題であるかに気づき、実際に自ら行使しないと意味がないのではないのでしょうか？

大学の憲法の講義を「体験」してみませんか？

日本体育大学は私立大学ですが、税金をもとにした国からの私学助成も受けとっています。また、一地域に存在する大学として、地域で理解されなければ、地域と共に発展していくことはできません。逆に市民などは納税者として、また、地域住民として、機会があれば地域に存在する大学をもっと利用してもいいはず。そこで今回、市民の方々に大学における憲法の講義を無料で「体験」していただきたいと考えました。「体験」といっても、憲法の知識を自分のものにし、活用できるようにしてほしいと思っています。日体大など教養・教職系の憲法の講義は半期15回、法学部の憲法の講義は2年間60回もありますが、この講座では大事な部分を8回分に圧縮してお届けしたいと思います。

こんな方はぜひご参加を！

中学・高校で憲法を学んだけれどももっと学びたい方、大学などで学んだけれど改めて・久しぶりに学びたい方、将来公務員（公務員には憲法尊重擁護義務があります）や幼小中高校教員（憲法の単位を取得しないと教員免許を取得できません）を目指そうと考えている高校生・大学生、現役の幼小中高校教員など、憲法に興味のある方ならどなたでも受講を歓迎します。もちろん、全講座受講が望ましいですが、参加可能な回だけの受講でもOKです。どうぞどなたでもお気軽にご参加下さい。

【期間】 9月21日（土）～10月26日（土）全4日1日2講

【時間】 毎回9時30分～12時30分

[1講目] 9時30分～10時55分（85分） [2講目] 11時5分～12時30分（85分）

（2講目終了後、時間のある方と学食で食事をしながら質問などを受けます）

【場所】 日本体育大学横浜・健志台キャンパス百年記念館（1号館）

9月21・28日・10月19日は3階1301教室、10月26日は4階1402教室

東急田園都市線青葉台駅より東急バス日体大行約15分（車での入構はできません。）

【講師】 清水雅彦（日本体育大学体育学部教授・憲法学）

【内容】 9月21日（土）[1講目] 憲法とは何か、人権の基本原則と法の下での平等

[2講目] 自由権①～人身の自由、幸福追求権

9月28日（土）[3講目] 自由権②～精神的自由（思想・信教・表現・学問の自由）

[4講目] 社会権～生存権、教育を受ける権利、労働者の権利

10月19日（土）[5講目] 天皇、平和主義

[6講目] 国会、内閣、財政

10月26日（土）[7講目] 司法

[8講目] 地方自治、憲法の保障、憲法の改正

【費用】 無料（事前申込不要。当日、直接会場までお越し下さい。）

【参考文献】 下記拙著『憲法入門』（大月書店）（ただし、会場での販売はしません。）

【講師プロフィール】

1966年兵庫県生まれ。神奈川県立茅ヶ崎丘陵高校卒業、明治大学法学部卒業、明治大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得満期退学。札幌学院大学法学部教授などを経て、現職。専門は憲法学。研究テーマは平和主義、監視社会論。九条の会世話人。最近の著書（単著）に、『憲法改正と戦争 52の論点』（高文研、2023年）、『憲法入門 法・歴史・社会をつなぐ』（大月書店、2024年）など。

【お問い合わせ先】

日本体育大学法学研究室 TEL：045-963-7941（直通）、E-mail：shimizumasahiko@nittai.ac.jp

日本科学者会議神奈川支部第 60 回総会記念講演「サンダース後のアメリカー バイデン、トランプ、大統領選の背景にある潮流を読み解く」の報告

飯岡ひろし

日本科学者会議神奈川支部は石川駅そばの労働プラザで、5月18日（土）の午後から第60回の支部大会を会員以外の参加者をふくめ11人で開催しました。

今回の大会に先立っての記念講演では、11月にアメリカの大統領選挙をテーマに横浜国大名誉教授の萩原伸次郎さん（日本科学者会議代表幹事）から『サンダース後のアメリカ』と題してお話しをしていただきました。バーニー・サンダース上院議員は今回の選挙では年齢を理由に立候補しないと表明しています。民主社会主義を自認し、2016年の大統領選挙で民主党から立候補し、若者や労働者から支持をえて、予備選ではミシガン州でヒラリーを制して候補に指名されるのではとの期待が強まったこともありました。議会では基本的に無所属ですが、2018年の下院議員選挙ではニューヨーク州で当選したアレクサンドリア・オカシオ＝コルテスなどと、議会では民主党の4割をしめる左派会派をつくっています。また議会のキャスティングボードをにぎる場面もあって、医療や社会福祉などの政策的にも成果をえています。

萩原さんは、選挙人538人の過半数を獲得したものが大統領になるが、その州で最高の一般投票を獲得すれば、その州のすべての選挙人はその特定候補の選挙人になるというユニットルールであることから、すでに州によって共和党、民主党の当選が確実で、民主党、共和党の候補は党大会によって正式に決定するなど、大統領選挙の仕組みを説明されました。

現状では現職の民主党、バイデン、ハリス政権のもとで経済状態、イスラエルの侵略への支持など失望があるとされ、一方、トランプ候補は強固な白人保守層とその浮動票の支持、4つの裁判の判決の影響（帳簿改ざんでは5月31日にニューヨーク州裁判所で有罪となる）など、からならずしも有利とはいえないと分析しました。バイデンは81歳と高齢であることから健康不安がいわれ、5月の世論調査ではトランプがリードしている結果がでています。その後、選挙の動向に大きな影響をあたえるテレビ討論で、バイデンは、言いよどみや名前の間違をして、次期を務めるのは無理という新聞社説、民主党のなかでは次期選挙の候補者をかえると主張する議員も現れています。トランプ陣営はバイデン政権で「経済は悪化した」と批判を強めていますが、そのほとんどが事実ではないと報道され、「アメリカ第一主義」には辟易している保守層も少なくないようです。7月に発表した共和党綱領は規制緩和、移民排斥、政府予算削減など経済の保護主義、中国への最恵国待遇の撤廃などがかかげています。トランプ政権になれば気候変動への対策は大幅に後退することは確実です。

7月13日、トランプ候補はペンシルベニア州での選挙演説中に銃撃されるという事件がおきました。このことが選挙の趨勢にどう影響をあたえるのかについてはさまざま報道されています。アメリカでは有権者名簿などはなく、選挙人を選ぶ選挙に参加するには自分で名簿に登録しなければなりません。「有権者人口における投票率合計はわずか56%を下回っていた」

(<https://forbesjapan.com/articles/detail/38033>)という調査があります。政治資金は両党候補とも政財界の献金によって確保され、見返りとしての影響力をえています。サンダース陣営は戸別訪問ができることもあって、個人の募金によってその活動を支えているなど、市民に依拠した活動は継続しています。ガザ地区の虐殺行為が世界的に糾弾されていますが、ユダヤ系の企業への配慮もあって両党ともイスラエル支援はかわりません。これに対して、「虐殺、支援をやめろ」という学生の抗議が全米に広がって、警官隊が大学に入るなどの衝突もおこって、若者、労働者（最近の労働組合は大幅賃上げを求めてストライキをしています）など左派には、バイデンも支持できないという「閉そく」の状態にあるといえます。「サンダース後のアメリカ」は底流で新しい段階を準備しているのかもしれない。

2名の裁判官が退官、1名の裁判官の署名だけの異常な判決

安保法制違憲かながわ訴訟の控訴審の判決が6月14日に、東京高裁101号法廷で下されました。

全国で原告7699名、代理人弁護士1685名が、全国22の裁判所で25の裁判訴訟をたたかってきましたが、すでに多くの裁判で棄却の判決が出されています。

かながわ訴訟では、判決を前に、3名の裁判官のうち2名が依願退官するという異常事態が起きました。これまで、石川健治東大教授らの証人尋問を認め、自らも詳しく質問していた脇博人裁判長と、国側の代理人に対し、反論をするように要請していた鈴木順子裁判官でした。

判決は残りの一人の山城司裁判官のみの署名で、読み上げられました。「本件各控訴をいずれも棄却する。控訴費用は控訴人らの負担とする」とのわずか10秒間の判決で、逃げるように退席しました。

その後、別会場で報告集会が開かれ、弁護士から詳しい説明がありました。福田護弁護士は、次のように報告しました。「脇裁判長は6月30日で定年退官の予定であったのに、判決前に依願退官とは通常ではありえないこと。山梨訴訟の東京高裁の裁判でも、判決前に裁判長が退官している。群馬地裁の判決は二度も延期された。私たちは、平和的生存権、人格権、憲法改正決定権の侵害として証人尋問も実現して訴えたが、証言についてまともに検討されなかった」。

伊藤真弁護士は、「石川健治教授は、裁判での証言は楽しかった、脇裁判長との質疑では、同じ法律家として共鳴し合うものだったと言っていた。最高裁では一人ひとりの裁判官の見解が示されるが、下級審では多数決で決められる。今回の判決も裁判長の見解は他の二人の裁判官の意見によって二対一で否決されたのではないだろうか。2014年7月1日の閣議決定から10年、国民は通ってしまえば忘れてしまうと言った首相もいたが、私たちは忘れない、絶対に許さない。判決は残念だが、これで負けるわけにはいかない」と発言しました。

関守麻紀子弁護士は、「左陪席の鈴木裁判官も依願退官している。裁判所から電話で連絡があった」と報告しました。

岡田尚弁護士は「退官を報道した新聞を見て驚いた、裁判長は両陪席との話合いで負けたのだろうか。裁判所は魑魅魍魎、摩訶不思議の世界だ。しかし、絶望してはならない」と発言しました。森卓爾弁護士は「判決文には退官した二人の署名はなく、左陪席の山城司だけの署名があるだけだ。2週間以内に上告するかどうか判断する必要がある」と述べました。

他の弁護士、東京訴訟や女の会の原告ら参加者からも次々と発言がありました。最高裁に上告するかどうかは、たいへん難しい判断になるので弁護団で相談したいとのことでした。

上告を決定した検討会

6月20日には、横浜市開港記念会館6号室で判決、上告検討会が開かれました。

はじめに、福田弁護士から「このような判決を受けて引き下がることはできないと判断し、上告することにした」と報告しました。

ついで、関守弁護士から判決について、以下のような説明がありました。判決は、(1)控訴の趣旨、(2)概要、(3)当裁判所の判断、(4)結論からなる。(1)と(2)には私たち原告の主



図1 報告する福田弁護士、左は伊藤弁護士、右は関守弁護士



図2 検討会で発言する弁護団

帳が述べられ、(3)でそれに対する裁判所の判断が次のような述べられている。

平和的生存権は裁判規範となりうる権利として保障されていると解することができないのでその侵害は認められない。人格権の侵害に関する長谷部恭男教授の予防原則にもとづく主張も、台湾有事による被害も、安保3文書の閣議決定も、切迫した危険が迫っているわけではなく認められない。

憲法改正決定権の侵害についての石川健治教授の意見書にもとづく主張も、国会が発議するもので、国民各人に具体的権利が保障されているものと解することは困難で、採用することはできないとした。控訴人らの個別的主張も、社会通念上受忍すべき限度を超えているとは認められない。

憲法判断の必要性については、「当裁判所で憲法判断を行う必要性、相当性があるということとはできない」としながらも、仙台高裁の判決と同様に「閣議決定による政府の憲法解釈や関連2法(安保法制)が憲法の平和主義の理念や憲法9条に明白に違反するとまで言うことはできない」と述べている。

昨年12月の仙台高裁の判決は、長谷部教授の証言をふまえて、「裁判官としてはせいっぱいの判決」(長谷部氏の感想)であったのに、本判決は石川教授の証言もほとんど無視しています。しかも、安保法制にある「重要影響事態」を「重要環境事態」と誤記したり、「長谷部意見」を「長谷川意見」としたりしているいい加減な作文で、許しがたい判決であることが明らかにされました。

私たちは、2016年9月に提訴してから5年半の裁判闘争で、2022年3月には横浜地裁で、全国で初めて原告と宮崎礼壹、青井未帆、半田滋各氏の証言に耳を傾け、安保法制について、司法から行政府と立法府に対して要望を述べた判決が下されました。

東京高裁では2022年12月から控訴審がはじまり、昨年12月には、石川健治氏が証人に立ち、90分にわたって、2014年の閣議決定と2015年の安保法制の強行採決は国民に憲法改正決定権を与えている憲法96条違反のクーデターだと証言しました。

その後の検討会では、今回の高裁判決は、これまでの裁判での原告側の主張と論理をまったく無視したもので受け入れることはできない。3人の裁判官で裁判を進めてきたのに、一人の裁判官だけの署名の判決は許されない。上告して最高裁での闘いを進めようとの発言が出されました。全国の裁判をみて、上告してもよくない影響を与える心配は少ないとの判断でした。

7月10日に、全国ネットと総がかり行動の共催で、10時から最高裁西門集合で要請行動をおこない、14時から16時まで参議院議員会館1階講堂で市民集会所りもどそう立憲主義と平和憲法が開催されます。全国から原告市民、弁護士、憲法学者、国会議員、ジャーナリストらが参加し発言します。憲法を守り、平和を求めて集まろうと呼びかけ、検討会は終了しました。

第5回山中市政をすすめる市民のつどいの報告

後藤仁敏

2024年6月23日、市民の市長をつくる会が第5回山中市政をすすめる市民のつどいを127人の参加で開催しました。

初めに、筆頭代表委員の私が次のように挨拶しました。「今自民党議員の裏金づくりで国民の怒りが沸騰している。都知事選での結果によっては、岸田政権が大きな打撃を受ける。3年間の山中市政をしっかり評価し、来年の市長選で再び勝利しよう」。

土肥有理氏(明治大学助教)が「自治体の主人公は私たち」について以下のように講演しました。市民運動は市民の市民による市民のための自発的な運動だ。上脇教授のような告発型、沖繩のような抵抗型、住民投票を求めるような参加型があり、選



図1 講演する土肥有理さん

挙などによる制度的参加や集会・デモ・署名などの非制度的参加がある。

自治とは人びとが自らの意思でその在り方を支配し、自らに関わることを自律的に処理することだ。立法、行政、司法の三権分立は地方自治体でも同じだ。日本国憲法は、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義に地方自治を加えた4原則からなる。地方自治は住民の要求に根ざし、住民運動によって具体的政策を実現することだ。

日本では、政治に問題が多く、選挙制度にも問題があり、教育や報道にも問題が多い。市民は権利を行使して初めて主体となる。成功事例だけなら学ぶのでなく、うまくいかなかった事例からも学ぶことが大切。一番は市民の声を聞く議員を議会に一人でも多く送り出すことである。

続いて、日本共産党横浜市議団長の古谷靖彦さんが、山中市政と横浜市議会・各会派の状況について次のように報告しました。山中市長はIRを撤回した後、3つのゼロのうち小児医療費、出産費用を実現し、残りは敬老パスだけとなった。前進面とそうでない面を分析する必要がある。市議会での与党は4分の1しかなく、4分の3は野党だ。自民党は出産費用ではなく妊産婦検診が遅れていると指摘したので、どちらも実現できた。公明は1年目は鋭く切る質問をしていたが、その後はそういうことはない。維新も予算にはすべて賛成しているが、立ち位置が不明だ。市長は自分のまわりの人にしか会わないので、市民の意見を市長に届けることが必要だ。

休憩の後、質疑応答があり、3つの報告がありました。事務局長の菅野隆雄さんは、討議資料「市民本位の市政と住民自治の充実を」について説明し、その活用と要求実現の活動、市議会の傍聴、来年の市長選に向けて市民と野党の共同を呼びかけました。

菊谷節夫さんは上瀬谷跡地問題について、次のように報告しました。2006年には都市型農業を残し、公園と広域防災拠点、スポーツ、文化教育などの施設を掲げていた。しかしその後、2027年の国際園芸博の開催を決め、2019年には林市長が跡地にディズニーランド級のテーマパークの計画を発表した。開発は三菱地所が行ない、年間来場者を1500万人以上に引き上げるといふ。園芸博でも半年で1000万人の来場を前提としており、瀬谷駅など4駅から1時間に150本のシャトルバスを出せば、大渋滞と排気ガスによる汚染や喘息の多発も予測される。市民参加で、計画の見直しが求められる。

自治体問題研究所の矢後保次さんは、次のように話しました。林前市長は公約を破ってカジノ誘致を進めようとしたが、山中市長は公約を前進させ、市民参加・住民自治を進めた。「市長と語ろう」で市民と直接対話し、パブリックコメントを充実させた。山下ふ頭再開発ではワークショップを開催した。これをどう活かすかが正念場だ。各区に区自治協議会をつくり、各種審議会・検討委員会に市民が参加できるようにするよう、住民運動を進めたい。

最後に、市民のための横浜市政を進める会の岡田尚さんが、「カジノ反対の市長を実現させる横浜市民の会」が選挙後に進める会になった。毎月世話人会を開き、各区の代表者の会も開催し、市長との関係も深めてきた。来年の市長選に向けて9月1日に集会を予定している」と発言しました。代表委員の長尾演雄さんのよる力強い閉会挨拶で幕を閉じました。

私の閉会挨拶は以下のとおりです。



図2 報告する古谷靖彦さん



図3 解説する菅野隆雄さん



図4 閉会挨拶する長尾演雄さん

皆さん、こんにちは。本日は午前中雨の降るなか、第5回山中市政を進める市民のつどいに参加いただき、ありがとうございます。大勢の皆様のご参加、大変うれしく思います。

2021年8月に山中市政が誕生して、3年がたとうとしています。土志田さんが言われたとおり、「市長当選はゴールではなく大変なスタート」でした。21年9月10日の市議会で市長は高らかにIR事業の撤回を宣言しましたが、その後は市議会で多数を占める自民党・公明党市議による陰湿な市長への個人攻撃を受けるなど、いばらの道のスタートとなりました。3年目を迎えて、山中市長も市長選での公約の実現を着実に進めることができるようになりました。

私たちは、山中市政を進めようと、22年3月6日に第1回の山中市政を進めるつどいを120人参加で開催し、京都大学名誉教授の岡田知弘さんに地方自治について講演いただき、横浜市長選での市民の勝利の意義を確認することができました。22年7月30日には第2回目を162人の参加で開催し、畑野君枝さんに国政報告をしていただきました。そして、23年2月23日は第3回目を113人の参加で開催し、静岡大学教授の川瀬憲子さんに「国の予算と地方財政の課題—集権型システムの構造」について講演いただきました。また、23年1月の日米2+2で合意された、横浜港のど真ん中、瑞穂ふ頭のノースドックに米陸軍揚陸艇部隊の配備に反対する運動も始まりました。

そして、昨年4月の市議選では、山中市長の公約を実現するためにも、山中与党を増やし、自民党・公明党の市議を減らそうと訴えました。しかし、たいへん残念なことに自民党・公明党の議席は減らず、逆に山中与党の共産党と立憲民主党が4つずつ議席を減らし、合わせた8議席を維新が占めるという結果になりました。私は、カジノを撤回させて横浜で、大阪でカジノ誘致を強行している維新が議席を増やすとは、なんということだ！と感じました。昨年10月の第4回目の山中市政を進める市民のつどいでは、第1回目に講演いただいた岡田知弘先生に「岸田大軍拡と地方自治の未来」について講演いただきました。

さて、本日の第5回山中市政をすすめるつどいでは、まず、明治大学助教の土肥有理さんに「自治体の主人公は私たち」について講演いただきます。その後、日本共産党横浜市議団長の古谷やすひこさんに「山中市政と横浜市議会・各会派の状況などについて」報告いただきます。休憩の後、事務局長の菅野隆雄さんから「市民の市長をつくる会の討議資料の説明と今後の取り組み」についてお話しいたきます。ついで、上瀬谷基地懇事務局の菊谷節夫さんは「上瀬谷跡地問題について」、神奈川自治体問題研究所副理事長の矢後保次さんには「山中市政と市民参加・住民自治」について発言いただきます。最後に、特別発言として、市民のための横浜市政を進める会代表世話人の岡田尚さんにお話しいたきます。

いま、自民党議員の政治資金パーティーによる裏金づくりで国民の怒りが沸騰しています。85人の国会議員が5.8億円以上の裏金を手にした政治資金規正法違反事件です。岸田首相は「政治にはコストがかかる」といいましたが、これは裏金で選挙に勝ってきたことの自白です。自民党の一強は裏金と統一教会の力によるものだったことが明らかになったのです。岸田政権は甘い処分と抜け穴づくりの政治資金規正法改定で幕引きを図ろうとしています。国民はこれを許してはなりません。

4月の3つの衆議院補選では自公や維新などの補完勢力が全敗し、立憲野党が勝ちました。5月の小田原市長選で加藤さんが前回500票差で負けたのが2万票差で大勝しました。岸田政権の支持率は10%台、不支持率は60%に上ります。そのなかで、7月7日の都知事選挙が注目されます。立憲野党と宇都宮健児さん、前川喜平さんが応援する蓮舫さんが勝利すれば岸田政権に致命的な打撃を与えます。2021年8月に私たちが山中さんを当選させて菅政権に打撃を与え、菅氏を首相の座から引きずり落としたことが再現されます。総選挙での政権交代の可能性も開けます。

みなさん、山中市政を進めるため、そしてあと1年2カ月後の2025年夏の市長選に向けて、しっかり学び、ご議論くださるようお願いいたします。



図6 挨拶する手塚賢一氏 図7 挨拶する伊方順子氏 図8 挨拶する筒井完治氏 図9 野中康司氏のコール

新社会党の手塚賢一県連本部委員長は「わが党は非武装中立を主張している。武器を造って自国を守るだけでなく他国に打って儲けることは許さない。子どもを戦争に巻き込ませてはならない。自民党政権を倒すためともに頑張ろう」と訴えました。緑の党県本部の伊形順子さんは「私たちは平和・平等・多様性・持続可能性・再生可能エネルギー100パーセントをめざしている。平和をつくるため立憲野党は一致して大連立してほしい」と話しました。

市民団体を代表して栄区革新懇の筒井完治さんは「革新懇も参加する安保法制廃止、憲法生かそうオール栄区の会は 213 回も駅頭宣伝を続けている。自民党は政権担当能力を失っている。今こそ、野党と市民の共闘で選挙に勝とう」と呼びかけました。

集会アピールを拍手で採択し、野中康司氏の頑張ろうコールで閉会となりました。4区から、神奈川から、裏金と統一教会による自民党政治に代わって、まっとうな政治を実現しようという熱気あふれる集会となりました。なお、図1～8は野中康司氏が撮影したものです。提供、ありがとうございました。

私の主催者挨拶は以下のとおりです。

本日は、衆議院選挙を勝利する神奈川4区市民集会にご参加いただき、ありがとうございました。私たちは、2017年と2021年の衆議院選挙で、立憲野党と市民の共同によって、神奈川4区、鎌倉市・横浜市栄区・逗子市・葉山町から、国政への代表として早稲田ゆきさんを国会に送り出すことができました。2019年と2022年の参議院選挙では、神奈川で4ないし5議席のうち2議席の立憲野党候補の当選をめざしましたが、神奈川全体では1名しか当選できませんでした。しかし、4区内だけの得票では、2名を当選圏内に入れることができました。配布資料の裏を見てください。2022年の参院選、立民党の水野素子さんが2位当選、共産党の浅賀由香さんも5位で当選しています。公明党の三浦氏が6位で落選でした。

しかし、この選挙で浅尾慶一郎氏は参議院議員となり、2017年、2011年と2回の選挙では自民党候補が二人出ていたのが、山本氏に1本化されました。前回、前々回の結果では山本氏と浅尾氏を合わせると11万票となり、早稲田さんは6万7千票ですから、きわめて厳しい選挙になります。私は浅尾氏と山本氏は2回の選挙で激しい争いをしており、浅尾氏の票が全部山本氏に行くとは思いません。さらに、山本氏は「マザームーン」発言に見られるように、統一教会と深い関係を持っており、そのような人物を当選させてはならないと思う人も多いでしょう。そこで、今日は永く統一教会を取材されてきた鈴木エイトさんに基調講演をお願いし、同教団による政界とくに神奈川汚染についてお話しいただくことにしました。

今、自民党の100人近い国会議員が政治資金パーティー券による裏金づくりに対して、国民の怒りが沸騰し、その解明も責任も明らかにせず、甘い処分、抜け穴づくりの政治資金規正法改定で幕引きを図ろうとしています。国民はこれを許してはなりません。これまで自民党一強、安倍一強が続いたのは、裏金と統一教会の力によるものであったことが明らかになりました。こんな政治は許せないと、4月28日の衆議院3つの補選では自民党・公明党だけでなく、維新や都民ファーストなどの補完勢力も全敗し、立憲野党が勝利しました。その後の選挙でも、自公候補の敗北と立憲野党の勝利が続いています。そして、注目されるのは7月7日の都知事選です。現職の小池氏に立憲野党と市民が応援する蓮舫さんが激しく迫っているとの報道があります。その結果次第では岸

田政権への致命的な打撃になるでしょう。

来たるべき衆議院選挙でも、私たちは神奈川各選挙区で市民と野党の共同を進めようと、県内 20 選挙区の各会が集まる「かながわ市民連絡会」は立憲野党に共同候補擁立の要請をし、懇談を進めています。中央の市民連合は昨年 12 月に立憲野党 5 会派に共通政策の要望書を提出しています。私たちは 4 区でも市民と野党の共同を進め、過去 2 回と同様に共同候補を擁立して必ず勝利したいと思えます。

そのためには、立憲民主党、日本共産党、社会民主党、れいわ新選組の支持者だけでなく、無党派層にも呼びかけて投票率を上げ、支持を広げることが大切です。今日は、鈴木さんの講演の後、立憲民主党衆議院議員の早稲田ゆきさんに国政報告していただき、その後、日本共産党比例区予定候補の畑野君枝さん、社会民主党神奈川 15 区予定候補の佐々木克己さん、れいわ新選組神奈川 2 区予定候補の三好りょうさん、新社会党の手塚賢一さん、緑の党の伊方順子さん、市民団体代表として栄区革新懇の筒井完治さんに挨拶願います。

最後をお願いします。私たちの 4 区市民連合は個人の集まりで、会費を集めたり、団体や組織からお金をもらってはおりません。集会に参加された皆様の資料代、カンパが唯一の資金源です。あとで事務局からお話がありますが、この集会にあたってチラシなどを作製したことで、今ほとんど資金がありません。皆様のカンパをこころよりお願いいたします。

どうか最後までご参加いただき、集会を成功させ、来たるべき衆議院選挙で、市民と野党の共同候補として早稲田ゆきさんの 3 選、必ず実現しましょう。国民には大軍拡で増税、自分たちは裏金で脱税、裏金と統一教会で政治をゆがめてきた自民党政権を終わりにし、日本にまっとうな政治を取り戻そうではありませんか。

根岸線沿線九条の会連絡会が安田菜津紀さん講演会を開催

後藤仁敏

2024 年 6 月 29 日、根岸線沿線九条の会連絡会が、横浜港南台教会で安田菜津紀さん講演会を開催し、150 名が参加しました。

はじめに、新婦人港南支部のサークル、グリーン・ピースの 7 人によるコカリナ演奏があり、教会の礼拝堂にコカリナの美しい音色が響き渡りました。コカリナはハンガリー生まれの小さな木の笛で、日本の木工職人が完成させたものです。平和で安心できる世界をとの祈りを込めた演奏でした（図 1）。



図 1 グリーン・ピースの演奏

安田菜津紀さんは「紛争地、被災地に生きる人々の声～取材から図 2, 3) えてきたこと」と題して、映像を見せながら、以下のように講演しました（図 2, 3）。

私は憲法の条文のうち、前文にある「われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する」が一番好きです。

ウクライナでの過酷な戦争が続くなか、昨年 10 月にハマスによるイスラエルへの攻撃があり、イスラエルによるパレスチナ・ガザへの侵攻で、犠牲者が増え続けています。ガザは海まで含めて周囲を封鎖された天井のない監獄です。ガザ市への攻撃で、南のラサに 150 万が避難させられたところに、軍事侵攻され、大量の犠牲者が出ています。

パレスチナのシャヘドさんは、東日本大震災の映像を見て、「私は小さいころから日本から送られた文房具やメッセージを読んで育ってきたので、図 2 講演する安田さん



今度は私から日本に支援したい」と被災者への手紙や復興記念の凧揚げをしています。

2019年に砲撃で右足を切断したシリアからイラクに逃れたのサラちゃんは「大きい人は好き勝手にするのはもうやめて」と訴えました。今は義足で日常生活をおくれるようになっていきます。

東日本大震災で、津波で壊滅したと報じられた陸前高田氏には夫の両親が住んでいます。義父が県立高田病院の4階で撮影した映像を紹介します。義母は4月9日になって気仙川を9キロ遡った上流で、地元の消防団の人によって、2匹の愛犬といっしょに、遺体となって発見されました。義母は愛犬の綱を握りしめていました。

義父は1945年の空襲、1960年のチリ地震津波、そして2011年3月と3回避難生活を経験しました。だが、「国を追い出されることはなかった」と語っています。

被災した仮設住宅に住む人たちは、シリアからイラクに避難した人々に、冬の寒さをしのぐための衣類を贈っています。

昨年11月、イスラエルの閣僚が「ガザに核兵器の使用も選択肢の一つ」と発言しましたが、日本の広島出身の首相は何も言いません。代わりに、広島・長崎の被爆者が声をあげました。日本の政府は核兵器禁止条約にオブザーバー参加もしません。

これらの紛争地、被災地の方々が「自分たちのことを気にかけてくれている人がいる」と知るように、皆さん、足元から広げてください。

その後、司会が港南台9条の会の成田知子さん(図4)から洋光台九条の会の小林茂道さん(図5)に交代して、質疑応答がありました。

今の仕事を選んだきっかけは、「高校2年の時に「国境なき子どもたち」の企画でカンボジアに行ったこと」だそうです。どう終結させるかについては、「加害に加担しないこと、安倍国葬にミャンマー軍関係者を招待するようなことはしてはいけない。日本政府は大戦での加害の歴史を否定し、戦争の準備をしています」と答えました。腰越九条の会からは、「ガザ、ジェノサイドノー、パレスチナに平和を」と書いたストラップについて紹介がありました。

その後、主催者を代表して栄区九条の会の私が、「来年もまた新しい企画を考えますので、是非、ご参加ください」と呼びかけました(図6)。また、横浜港南台教会の中沢譲牧師は、「この教会でよければ、また是非、会場として使ってください」と挨拶しました(図7)。

最後に、司会の成田さんから、アンケートとカンパの訴えと、安田さんの著書の販売とサイン会の案内があり、閉会となりました。

写真は、公平武治さんと高橋聡明さんから提供いただきました。私の主催者挨拶は以下のとおりでした。

本日は、根岸線沿線九条の会連絡会主催の安田菜津紀さん講演会にご参加くださり、まことにありがとうございました。会場いっぱいの150人もの方々がご参加くださり、また、2階でモニター視聴して参加された皆様も、まことにありがとうございました。主催者を代表して、厚くお礼を申し上げます。



図3 講演する安田菜津紀さん



図4 司会の成田知子さん



図5 司会の小林茂道さん



図6 挨拶する私



図7 挨拶する中沢譲牧師

私どもは、JR 根岸線沿線にある 6 つの九条の会が、共同で講演会を開催している根岸線沿線九条の会連絡会と申します。森九条の会、磯子地域九条の会、洋光台九条の会、港南台 9 条の会、栄区九条の会、大船九条の会です。それぞれの会は小さいのでなかなか大きな集会はできない、昔はできていたが、メンバーが少なくなってきた、ならばみんなで協力して講演会を開催しようと、連絡会を結成したのでした。

根岸線沿線九条の会連絡会は、今日の資料「9 年の歩み」に入れたような活動をしてきましたので、ご覧ください。今回も、港南台 9 条の会の秋吉牧師が希望され、私が窓口になって安田菜津紀さんの所属する Dialogue for People に連絡をとって、開催することになりました。皆さん、安田さんは日曜日朝のサンデーモーニングにも月に一度パネリストとして出演され、素晴らしい発言をされています。また、東京新聞の夕刊にも月に一度記事を掲載されています。今日は最近のものをプログラムで紹介しました。

会場は、講演者との距離を身近くして質疑応答をしたいということで、この横浜港南台教会の礼拝堂をお借りしました。ころよく提供していただいた中沢譲牧師にお礼を申し上げます。あとでご挨拶いただきます。ただ、残念なことは会場以上に参加希望者が多く、お断りしなくてはならなかった方々が多くあったことです。心よりお詫び申し上げます。ぜひ、次の機会にと思っています。じつは、昨年一昨年参加者が会場にあふれ、たいへんな混乱をきたしました。それに懲りて今回は早めにチケットの販売を停止しました。ふたを開けると会場にはまだ余裕があり、もう少し販売してもよかったのではと悔やんでおります。参加者の予測ほど難しいことなないと思っております。

今日は、グリーン・ピースの 7 人の皆さんによるコカリナ演奏、安田さんの「紛争地、被災地に生きる人々の声～取材から見えてきたこと」という素晴らしい講演と質疑応答、満足していただけたでしょうか。

また、来年も 9 回目の新しい企画を考えたいと思いますので、ぜひご参加くださるようお願いいたします。本日は本当にありがとうございました。皆さん、憲法 9 条を守り、戦争する国づくりを許さないため、ともに頑張りましょう。

未完成の量子重力理論の現状紹介：「超ひも理論」と「ループ量子重力理論」

神奈川民間懇 北山宏之

今日、物理学者の間では、量子論と重力理論を統合した「量子重力理論」の構築が大きな目標とされているが、「ループ量子重力理論」は日本でも有名な「超ひも理論」と並んで、その有力候補である。

超ひも理論は、素粒子が点ではなくひも状だという「素粒子のひも理論」をグレードアップしたもので、時間や空間は素粒子が運動するためのバックグラウンドとしてあらかじめ前提される。研究を進める過程で、ひも状の素粒子が振動しながら移動するときの振る舞いが重力を媒介する仮想的な素粒子と似ていることが判明し、物質や電磁場だけでなく、重力をも含む「万物の理論」という見方が出てきた。

一方、ループ量子重力理論における時間や空間は、ループという根源的な要素から組み立てられた 2 次的なものである。ニュートン以降のほとんどの物理学理論では、時間は、数学で言う「実数」と同じものとして扱われ、任意の値で指定される時刻が存在する。だが、ループ量子重力理論には、とびとびになった特定の時刻しかなく、時間そのものが“量子化”されている。「滞ることなく流れ続ける」という古典的なイメージに従う時間など存在すべくもない。

2 つの理論をいろんな視点で比較してみた。

	超ひも理論	ループ量子重力理論
--	-------	-----------

<p>信念 (原理という形でそこに入りこんでいく。)</p>	<p>基礎を置いている原理は、何10年もの歴史をもつ素粒子物理学の研究が育んできたもので、なかでも重要なのは抽象的な<u>対称性</u>の概念。</p> <p>物理学における対称性とは、理論が何らかの数学的な変換に対して不変になることを意味しており、それぞれの変換が異なる種類の素粒子や力の間の隠れた関係を示す。</p> <p>例えば電磁相互作用は、電子とニュートリノという一見まったく異なる2つの素粒子をつなぐ対称性に基づいている。超ひも理論はまた、電磁気力と重力を関係づける対称性も提唱している。</p>	<p>その原理を、長い血統をもつ<u>空間の幾何学</u>に求めている。</p> <p>宇宙をまるごと理解するには物質の性質よりも、空間の構造を知ることのほうが本質的だと考える。こうした考えは、ガウスやリーマンのような数学者によって現代的に洗練され、アインシュタインによる一般相対論の定式化において決定的な形で用いられた。</p> <p>こうした原理を量子論と組み合わせると空間原子に拡張するのは確かに冒険的だが、自然ななりゆきと言えよう。</p>
<p>数学の基礎</p>	<p>連続的な幾何学</p>	<p>離散的な幾何学</p>
<p>野望</p>	<p>野望は「統一」</p> <p>この理論では、ある固定された時空内で運動し作用するすべての素粒子や力が、ひもというたった1つの実体で説明できると考える。説明できる力の1つに重力があり、また超ひも理論は量子論なのだから、この考え方は最終的には重力の量子論につながっていくはずだ。</p> <p>だがこの理論では、固定された時空内を運動する重力子を量子化するため、時空の構造の量子論は間接的なものであり、実際はほとんど手つかずのままになっている。こと時空に関する限り、この理論は一般相対論からそれほど遠くには行っていない。</p>	<p>時空を物質と対等にあつかっているのはループ重力だけだ。</p> <p>ここでは量子論の概念が空間と時間に直接適用され、物質と似た原子的な構造が時空において生じる。</p> <p>超ひも理論では「舞台」とされている時空も、ループ重力ならば、その理論を用いて構築することができる。空間、時間、物質といった森羅万象は、ゆらいでいる離散的な網の目であり、我々が変化として知覚しているのはそれらの相互関係なのである。</p>
<p>「余計な荷物」 (その理論が掲げた目標に直接は役立たないが、制度化されてしまった信念と野望を指す。)</p>	<p>超ひも理論を矛盾なく定式化するには、高さ、奥行き、幅という我々が見慣れた3次元以上の10次元とか11次元の空間が要求される。また今までに観測されてきたよりもずっと多くの種類の素粒子の存在が示唆され、その基礎には、異なる素粒子を関連づける新</p>	<p>これまで見てきたように、ループ重力は、一般相対論と同様、4次元時空そのものを直接取り扱う。高次元でも可能だが次元数は決まらない。</p> <p>こうして時空には量子の法則が与えられることになるが、これらの新しい現象は、基礎となる原理とその定式化から導かれるものだ。</p>

	<p>しい対称性（超対称性）が不可欠だ。</p> <p>こうした考えは、純粋に理論的な面からのみ導入されてきたものなので、革命的であると同時に、間違っている可能性もある。</p>	<p>従って、すでに確立された理論の枠組に新たに付け加えられる余計な荷物はない。</p>
<p>特異点をどう扱うか （両理論とも、ビッグバンとブラックホールの特異点については、それを非常に重要な問題と認識し可能な解決法について様々な提案をしてきた。）</p>	<p>超ひも理論では、広すぎる射程により、その結果がどうなりそうかと断定できるほど状況は明確にならない。</p> <p>実際、超ひも理論の枠組内では特異点の問題に対してまったく異なった提案がいくつも存在している。</p> <p>これらの中でビッグバン特異点を通過する完全な機構を備えているものは1つもなく、いまだ仮定に頼らざるをえない状況が続いている。</p>	<p>完全とは言えないまでも、はるかにはっきりした状況で時空の構造に取り組むことができる。（ループ量子宇宙論など）</p>
<p>自然が語りかけていること</p>	<p>ジュネーブに拠点を置く CERN(欧州原子核研究機構)は、LCH(大型ハドロン衝突型加速器)と呼ばれる素粒子加速器を擁している。超ひも理論の分野の研究に取り組んでいる物理学者の大部分は、LHC が実用化されるなり、超ひも理論が要請する未発見の超対称性粒子が観測されるだろうと想定していた。超ひも理論が成り立つためには、この粒子の存在が確認されなければならない、そのため「ひも論者」たちは、超対称性粒子の発見を期待していた。</p> <p>一方のループ量子重力理論は、超対称性粒子が存在しなくても問題なく成立する。こうしたわけで「ループ論者」たちはむしろ、この粒子は見つからないだろうと予測していた。</p> <p>LHC が稼働してから現在に至るまで、超対称性粒子は観測されていない。この結果は多くの研究者に深い失望をもたらすこととなった。</p> <p>2013 年にヒッグス粒子の存在が確認されたときの大騒ぎは、この失望をなおのこと際立たせている。超対称性粒子は、多くのひも論者が想定していたエネルギーの範囲内には存在していなかった。もちろんこれは、決定的な証拠ではない。私たちはまだ決定的な答えからは遠く離れた場所にいる。しかし私（ループ論者のロヴェッリ）には、自然が、ループ論者に有利となるささやかな兆候を提供してくれたように思えてならない。</p>	
<p>共通点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラックホールのエントロピーが計算できて、結果が一致する。 ・量子効果によって、特異点が除去される。 	

以上だが、参考文献から明らかのように、超ひも理論よりはループ量子重力理論びいきの視点からの比較になっているようだ。

参考文献：

- ・「時間は存在しない」カルロ・ロヴェッリ NHK 出版 2019 年 8 月 30 日発行
- ・「繰り返される宇宙」マーチン・ボジョワルド 白揚社 2016 年 11 月 25 日発行

- ・「すごい物理学講義」カルロ・ロヴェッリ 河出書房新社 2017年5月30日発行
- ・「ループ量子重力入門」竹内 薫 工学社 2005年7月25日発行

都知事選の真実—小池圧勝、石丸健闘、蓮舫惨敗は事実か？

後藤仁敏

2024年7月7日、東京都知事選挙が行なわれ、マスコミは「小池当選、石丸健闘、蓮舫苦戦」と報じたが、それは真実であろうか。

たしかに、選挙結果は、小池氏が1位で当選を決め、2位は石丸氏、蓮舫氏は3位であった(図1)。しかし、前回、2020年の選挙での宇都宮健児氏の84万票と比べれば、44万票も上積みしており、大躍進といえるのではないだろうか。

連合の芳野会長は「共産党が前面に出過ぎて蓮舫票が逃げた」と言っているが、小池氏を支持して蓮舫氏を敗北させるために活動した芳野氏にそういう発言をする資格がないことは明らかだ。実際は立憲民主党が前に出て共産党はチラシ配布などに専念していたようだ。市民と立憲民主党、日本共産党、社会民主党の共闘の力で、蓮舫氏は前回の宇都宮票よりも44万票も多い票を獲得したのである。「ひとり街宣」という新しい選挙活動も3000を超えて広がった。ただ、

前回は3位の山本太郎氏が66万票も取っており、今回もし山本氏が蓮舫支持に回っていたらと思うと、残念でならない。野党共闘があったから躍進し、れいわ新選組が加わらず不十分な野党共闘であったから3位に留まったのである。

一方、小池氏は、前回は366万票を取っており、今回は74万票も減らしているのだ。ステルス作戦で表には出なかったが、自民党が応援したことへの批判と、学歴詐称問題などが影響したのであろう。

また、石丸氏は前回維新が推薦した小野泰輔氏の票を100万票以上増やしており、その点では大躍進であった。維新とは話し合いはしたが、結局は維新の推薦を受けなかったことが無党派層の取り組みに成功した理由かもしれない。マスコミはSNSの活用が有効であったと主張しているが、企業からの献金による電話作戦、新聞折込の活用など、石丸氏の「できることは全部やった」との言葉のとおり、従来の手法も最大限駆使しての2位当選であったのだ。石丸氏は、「政治屋の一掃」などと主張して政党に不信感をもつ人々の受けざるになったが、その選対本部長は「裏金議員」の一人である自民党の萩生田光一衆院議員が主宰するTOKYO自民党政経塾の小田全宏塾長代行が務めています。選対事務局長は、民主党、みんなの党、東京維新の会などの事務局長を務めた藤川晋之助氏でした。政党批判をしながらも、政党関係者の尽力より選挙活動をしたのです。

なお、都知事選と同じ7月7日に行われた石丸氏の辞職ともなう広島県安芸高田市市長選では、石丸市政の継続を掲げた熊高昌三氏は敗北し、石丸市政を批判した藤本悦志氏が当選している。また、7月8日には、市長選でのポスター代の不払いで、最高裁が石丸氏の上告を退ける決定をし、石丸氏に72万円余りの支払いを命じる二審判決が確定している。

同時に行われた9つの都議補選では、都民ファーストが3議席、野党共闘でたたかった立憲民主党と諸派が1議席ずつの2議席、自民党が2議席、その他の無所属が2議席という結果であった。とくに自民党は8人の候補者を立てながら、2勝6敗に終わったのは、惨敗といえる。統一教会とも関係が深く、裏金問題でも処分を受けた萩生田光一氏の地元の八王子で、5万票もの大差で自民

当	小池百合子	2,918,015
2	石丸伸二	1,658,363
3	蓮舫	1,283,262
4	田母神俊雄	267,699

図1 2024年都知事選得票結果

最近の東京都知事選の主な候補者と得票数	
2020年	コロナ下の選挙戦。歴代2位の得票で小池氏が再選
366万1371	小池百合子 無現
84万4151	宇都宮健児 無新
65万7277	山本 太郎 れいわ新
61万2530	小野 泰輔 無新(維新推薦)

図2 2020年の都知事選挙結果

党の馬場貴大氏が立憲野党が応援した諸派の滝田泰彦氏に負けていることは、自民党にとって大きなショックであろう。

折しも、時事通信の7月5～8日の世論調査で、岸田政権の支持率が過去最低の15.5%（前回比-0.91%）、不支持率が58.4%（前回比+1.4%）、政権交代を望むが39.3%、自民党中心の政権が36.3%と発表された（図3）。裏金問題の解明もせず、甘い処分と抜け穴づくりの政治資金規正法改定で幕引きを図ろうとしている自民党、岸田政権への国民の怒りは、決して弱まってはいない。総選挙は、9月の自民党総裁選の後ともいわれるが、いかなる人物が総裁になろうが、市民と野党の共闘をさらに広げ、国民生活と憲法破壊による戦争する国をめざす、自民党政権に代わるより真っ当な政権を実現したいものである。

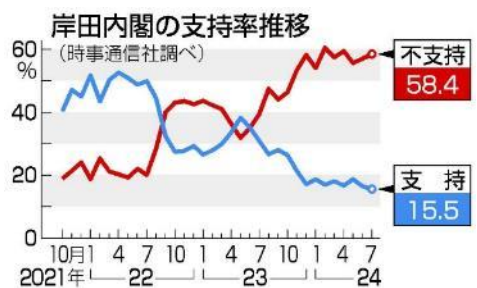


図3 時事通信の岸田内閣支持率の推移

能登半島地震の災害復旧と広域水道

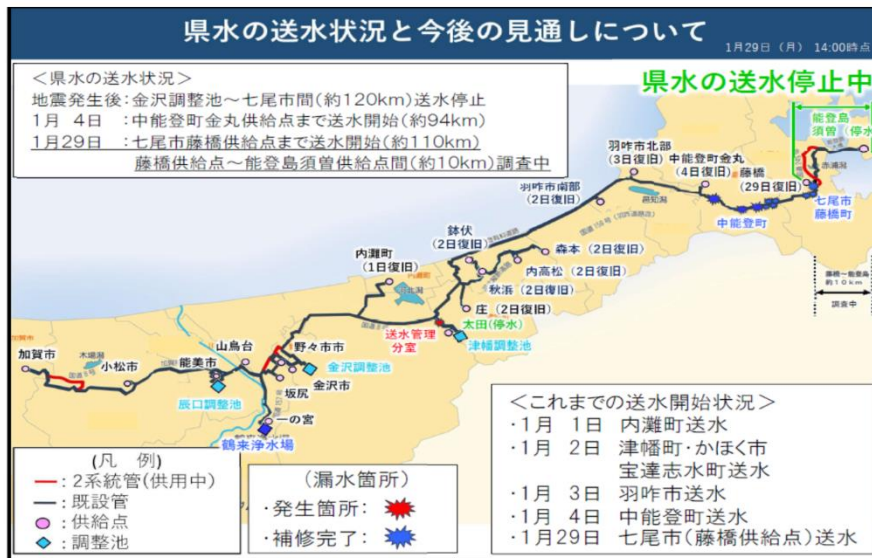
飯岡ひろし

能登半島地震は2024年1月1日16時10分、石川県珠洲市を震央にしたマグニチュード7.6の内陸型地震である。輪島市門前町と志賀町で震度7を観測した。その被害は能登半島から新潟県にまでおよんでいる。しかも、2007年に輪島市西南沖で震度6.9の地震が発生し、死傷者357人、住宅被害は全壊686などの被害があった。耐震性が劣化していたことで被害が拡大した。輪島市の断水中の地域には朝市通り約200棟など、倒壊した宅地の給水管で漏水している。また、孤立した山間村落で道路が復旧していない。能登半島は観光と山漁村からなる輪島市・珠洲市・穴水町・能登町の奥能登（北部地域）、江戸時代からの城下町であって、半島の中核である七尾市と志賀町、中能登町、羽咋市、宝達志水町などの中能登（南部地域）からなっている。能登半島のつけ根にある内灘町、羽咋市などは金沢都市圏に位置づけられ、通勤圏となっている。

奥能登地域、とくに輪島市と珠洲市はいまでも断水が完全に解消できない。輪島市、珠洲市は海岸線が4m隆起するなどし、浄水場、配水管など基幹施設の多くが損壊した。5月23日で石川県は人的被害1463人のうち輪島市303、珠洲市202、建物被害81242棟のうち全壊は輪島市4007、珠洲市2185となっている。とくに、輪島市・珠洲市では被害住宅の3棟に1棟が全壊している。死者は260人、輪島市112、珠洲市111、穴水町9、能登町9、七尾市5で、全壊した住宅の下敷き、建物延焼に巻き込まれたものがほとんどである。

奥能登地域の水道事業は市町による経営である。その規模は輪島市で給水人口23000から穴水町7600までと小規模である。奥能登の市町の水道事業は水道法による『上水道』とされる人口101人以上のものほか、いわゆる未規制水道（水道法が適用されないので、水質基準などは自主管理になる）のうち20人以上を条例で『小規模水道』として管理をしている。その数は63か所、約800人である。能登半島の上水道の普及率はいずれも90%以上と地方としては高く、さまざま方法で水源を確保して給水してきたことがわかる。地域コミュニティによる管理される水道事業が存在し、近隣の地表水、地下水を自己水源としていることから、断水が『水がない』という事態ではないことに留意するべきであろう。水道事業の形態は創設時点の市町村の連合体のような状況にあるといえよう。すなわち、山間のため効率をもとめて施設の統廃合をすることが困難であり、住民自治（村落）によって維持されているといえる。

中能登地域の七尾市は4月まで断水が解消できなかった。石川県営水道は金沢市、加賀市から七尾市、中能登町までを給水エリアとしている。その水源は、110kmはなれた白山市の手取川ダムで



取水、浄水され遠距離導水している。この管路が七尾市の手前で複数か所漏水、断裂したため復旧まで時間を要した。手取川ダムは建設省による多目的ダムで1980年に完成した。洪水防止、上水道、工業用水、発電の確保を目的とし、ダムは総貯水量2億3100万m³、最大級のロックフィルダムである。七尾市では、合併された市町村の地域では自己水源を保持していたため、発災後、給水復旧は順調であった。しかし、七尾市の市

石川県 HP <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/suido/documents/20240213-1.pdf>

街地、和倉温泉、能登島は県営水道のエリアで、110kmの送水管に通水したあとに、市内の給配水管の点検し漏水修理となったため、断水の解消は4月15日である。

上水道の復旧状況を見ると、震源である奥能登地域、とくに輪島市、珠洲市と中能登の七尾市などととはまったく違っている。奥能登地方は市町村合併によってエリアが広がるたびに、それを担う職員は減少している。数人の職員では、日常業務をこなすのが手一杯で災害時には自らが被災者であることから、応援の受け入れの対応すら困難である。さらに、一般財源の水道事業への繰入も行われている。七尾市は広域水道の弊害が顕著である。しかも、大口径管は一旦、水が抜ければ容易に復旧できない。さらに、石川県営水道の手取川ダムに水利権一日最大44万m³をもちながら、給水能力は最大で24万m³しかない。この水量も人口減少のため維持できなくなっている。しかも、能登地域は10年間で20%人口が減少しているため、財政状況は悪化している。県営水道の受水費の負担は重くなっている。そもそも、広域水道の巨大施設はそのエリアの広大さがゆえに効率が悪く、更新時期をむかえる中で財政破綻をむかえかねない。この傾向はおおむね広域水道に共通している。

現在、政府は水道法改正による『基盤整備事業』として、市町村営原則にある水道事業を府県が『広域計画』を策定して実施を迫っている。香川県、奈良県などでは県単位の統合で広域水道企業が発足している。しかし、水道事業における広域化は、水道事業の目的である公衆衛生・福祉の向上を実現させるための、住民自治を形骸化させることになる。統合による大規模化は人口減少に適応した水道施設のダウンサイジングを困難にするなど、広域化によるデメリットが十分に検討されていない。そもそも、府県は水道事業のノウハウをもっていないためコンサルタントに結論ありきの広域計画を作成させている。

石川県は金沢市を中心とした南部に商工業・人口も偏在している。この地域開発のために石川県の県営水道を発足させたように、その公共事業＝土木事業重視の姿勢は能登半島でも重点事業が里海道の4車線化であることからわかる。この里海道は地震で寸断され、物資の運搬ができなくなったためことが、復旧を妨げた原因となっている。奥能登への予想された災害への対策はほとんどなかったことは、避難所の悲惨な事態などで日々、明らかになった。

石川県は『復興的創造』をかかげているが、東日本大地震のように住民を無視した大規模公共事業(それは水道事業が移管された国土交通省が主体である)のオンパレードでは能登半島の未来はない。基盤整備事業という水道事業を自己責任として市民に押しつける方策は早晚破綻する。能登半島地震の対象とした上水道の取組みをみると、まれにみる大災害に対して基礎的自治体である市町とその職員の奮闘が垣間見られる。水道法によってたつ憲法25条の実現と維持のため、命の水を守ってきた地域住民の取り組み、住民の自治にこそ将来への展望があるように考えられる。

行事案内

- ☆7月24日(水) 18:15~20:30 **シンポジウム：いま東アジアの「平和の準備」をどう進めるか** 会場：明治大学駿河台キャンパスグローバルフロント1階(御茶ノ水駅徒歩3分) YouTube生配信あり 入場無料 コーディネーター兼パネリスト：瀨藤厚さん(山口大学名誉教授)、パネリスト：清末愛砂さん(室蘭工業大学教授)、佐々木寛さん(新潟国際大学教授)、志位和夫さん(日本共産党議長) 主催：実行委員会：全国革新懇、日本原水協、日本平和委員会、安保廃棄中央実行委員会
- ☆7月25日(木) 15:00~16:00 **女性の権利デー神奈川アクション 人権侵害・性暴力・あらゆるハラスメントのない社会へ** 場所：JR 桜木町駅前・ランドマークタワー側 トーク・アピールなど 雨天決行 主催：実行委員会 連絡先：opcedawkanagawa@gmail.com
- ☆7月25日(木) 15:00~18:00 『ヨコハマ市民自治を考える会』の定例会 会場：かながわ県民センター705号室(横浜駅西口徒歩5分) 市民自治に関心のある方は是非お越し下さい。問合せ：Eメール kura335200@star.ocn.ne.jp (倉田) 参加費 300円
- ☆7月26日(金) 13:30~ **やまゆり園事件から8年「犠牲者を偲ぶ会」** 会場：千木良公民館(JR相模湖駅からバス、千木良小学校前下車徒歩5分) お話：桜井裕司(「日本・コリア・在日をつなぐ会@相模原」共同代表) 主催：共に生きる社会を考える会 問合せ：042-684-3514(太田さん)
- ☆7月26日(金) 14:00~16:00 **「新しい戦前にさせない」連続シンポジウム 共同テーブル7.26第11回シンポ 「共同親権」が憲法24条を壊す!?~離婚してもDVから逃げられない** 会場：衆議院第一議員会館B1大会議室 総合司会：杉浦ひとみ(弁護士) コーディネーター：竹信三恵子(ジャーナリスト) 対談『共同親権のどこが危ないの?』：前川喜平(元文部科学省事務次官)、武井由起子(弁護士) 現場からのトーク：吉祥眞佐緒、DV被害当事者など 主催：共同テーブル 申込み：e43k12y@yahoo.co.jp 問合せ：090-8808-5000(藤田)
- ☆7月27日(土) 13:00~16:00 **共同企画シンポジウム：日本学術会議の法人化は社会と学問をどう変えるのか** 会場：早稲田大学8号館B107教室(南門そば、150名限定) およびオンライン併用 オンライン視聴：<https://www.youtube.com/watch?v=Be5kyC-ekHs> 司会：佐藤学・三成美保 報告者：梶田隆章、小森田秋夫、青井未帆、加藤陽子、米倉洋子 閉会挨拶：井原聰 共催：学問と表現の自由を守る会、大学の危機をのりこえ、明日を拓くフォーラム、学術会議の任命拒否理由の情報公開を求める弁護団、立憲デモクラシーの会、安全保障関連法に反対する学者の会、早稲田から広げる9条の会 御茶ノ水駅徒歩3分) 入場無料
- ☆7月27日(土) 13:00~16:00 **原水爆禁止2024年世界大会科学者集会 ビキニ被災70年から被爆80年へ 核兵器禁止条約の日本政府の参加を求めて** 会場：静岡大学静岡キャンパス共通教育L棟204教室&オンライン(zoom)ハイブリッド開催 動画放映：焼津市歴史民俗資料館「第五福竜丸被災70年特別展」を訪れて~静岡大学生2人が学芸員とともに第五福竜丸被災について学ぶ 講演1：ビキニ水爆実感被災の現代的意味と課題~隠され続けるグローバルヒバクシャ/隠され続ける核被災文書 高橋博子(奈良大学文学部教授) 講演2：ビキニで被災した漁船員被害の広がりとその後の調査 間間 元(静岡県保険医協会) 講演3：ビキニ被災70年から被爆80年へ~非核日本キャンペーンの意義 木藤 功(原水爆禁止静岡県協議会理事長) 総合討論：核兵器禁止条約への日本政府の参加を求める 主催：実行委員会 参加申込：下記 URL かチラシに掲載されているQRコードからお申し込み下さい。 <https://qr1.jp/bDYvIj> オンライン参加の方には後ほど zoom のリンク等をお知らせします。 問合せ：jsa.shizuoka@gmail.com
- ☆7月27日(土) 13:00~17:00 **横浜市教員採用試験にむけての学習会** 会場：桜木町びおシティ6階さくらリビング第3研修室(JR桜木町駅徒歩3分) 2次試験対策 1回500円 申込み:yokokai@aj.wakwak.com 主催：子ども・教育・くらしを守る横浜教職員の会 問合せ：045-212-5753
- ☆7月27日(土) 14:00~16:00 **栄区九条の会学習会 人権から捉える気候変動問題** 講師：山本大貴さん(慶応大学学生、record 1.5 共同代表) 会場：あーすぶらぎ1階会議室(JR本郷台駅徒歩3分) 資料代500円 主催：栄区九条の会、上郷九条の会、九条の会未来 問合せ：090-7175-1911(後藤)
- ☆7月27日(土) 14:00~ **学習会「包括的性教育」とは何か** 講師：浅井春夫さん(陸橋大学名誉教授) 会場：エポック中原7階第3会議室(JR武蔵中原駅直結) 参加無料 保育あり、要事前連絡 主催：日本共産党川崎市議団 問合せ：044-200-3360
- ☆7月27日(土) 14:00~ **7/27反戦集会&デモ 神奈川を侵略出撃基地にするな!** 会場：横浜市社会福祉センター4階ホール(桜木町駅徒歩2分) 資料代500円(学生無料) 映像とお話：影山あさ子さん(ドキュメンタリー映画「琉球弧を戦場にするな」監督 特別アピール：森川文人さん(弁護士)「ヒロシマ・反戦・反核つぶしの暴処法弾圧を許すな!」、川添望さん(婦人民主クラブ全国協議会)「反戦闘争の先頭に女性が立とう!」 主催：改憲・戦争阻止! 大行進神奈川 問合せ：080-5002-8744(品川)
- ☆7月28日(日) 福島、8月4日(日)~6日(火) 広島、8月7日(水)~9日(金) 長崎 **被爆79周年原水爆禁止世界大会** 福島大会 7月28日 13時~16時30分 @ビッグパレットふくしま・コンベンションホール[全体集会と基調講演、原発現地からの報告] 広島大会 8月4・5・6日 4日 折鶴平和行進 15時40分~ @広島平和記念公園~広島県立総合体育館 開会総会 17時~18時30分 @広島県立総合体育館・大アリーナ 8月5日(月):分科会 9時30分~12時30分 @市内会場 ひろば 14

- 時～16時30分 @市内会場フィールドワーク〔定員あり・先着順です〕 8月6日(火)国際シンポジウム 9時～10時30分 @広島県民文化センター・多目的ホール〔「核兵器廃絶へ向けた一歩を踏み出すために(仮題)」(同時通訳あり)〕まとめ集会 10時30分～11時 @広島県民文化センター・多目的ホール 長崎大会 8月7・8・9日 8月7日(水):開会総会 15時～17時 @長崎ブリックホール・大ホール 8月8日(木):分科会 9時30分～12時/14時～16時30分 @市内会場 ひろば 14時～16時 @市内会場 8月9日(金):閉会総会 9時～10時 @長崎県立総合体育館・メインアリーナ 非核平和行進 10時15分～11時 @長崎県立総合体育館～爆心地公園 主催:実行委員会(03-5289-8224)
- ☆7月28日(日)13:00～15:30 **中国近現代史講座全10回 第5回「中華人民共和国の成立」** 会場:戸塚地区センター2階B会議室(戸塚駅西口徒歩5分) 会費500円(資料代) 講師:岡崎雄児さん 主催:日中友好協会横浜西南支部 問合せ:080-5081-6522(大幡さん)
- ☆8月1日(木)～4日(日)10:00～18:00(最終日は17時まで) **第56回ヨコスカ平和美術展** 会場:横須賀市文化会館第1ギャラリー(京急横須賀中央駅徒歩10分) 絵画、彫刻、工芸など 入場無料 主催:実行委員会 連絡先:046-865-4788(倉田さん)
- ☆8月3日(土)～8月5日(月) **2024年歴史教育者協議会全国大会第75回東京大会「地域に根ざし、平和・人権・命をつなぐ」** 3日 全体会10:00～12:30 会場:明治大学泉キャンパス第一校舎(オンライン参加可、井の頭線明大前駅徒歩5分) 基調講演:山田朗 記念講演:日韓のモヤモヤから出会った新たな世界 加藤圭木&朝倉希実ほか 分科会I 13時30分～17時30分 地域に学ぶ集い 18時～19日30分、4日 分科会II 9時～11時30分 分科会III 12時30分～14時30分 5日 現地見学A・B・C・Dコース 事前参加登録費 会員・教員5500円(当日の現地参加は6000円) 学生・U25会員・市民1500円(当日の現地参加は2000円) 申込み:7月25日までに歴教協ホームページから参加申込ページを開いて必要事項を記入して送信してください。主催:実行委員会(03-3947-5701)
- ☆8月3日(土)13:30～18:30 **第19回キャンドル行動 平和の灯を!ヤスクニの間へ シンポジウム:あなたは祖国のために戦えますか?～自衛隊と殉国・ヤスクニ思想のいま** パネリスト:高橋哲也、清水早子、朴錫診、邱士傑 遺族等の訴え 諸団体からのアピール コンサート 会場:全水道会館大会議室(150人 水道橋駅徒歩3分、zoom併用) 参加費1000円 主催:実行委員会(<http://peace-candle.net>)
- ☆8月5日(月)～9日(金)9:00～16:00(最終日は15時まで) **第11回磯子区原爆展「広島の高校生が描く原爆の絵」展** 会場:磯子区役所内区民ホール1階広場(JR磯子駅徒歩5分) 無料 主催:実行委員会 連絡先:045-774-6718(紺野さん)
- ☆8月11日(日)13:30～16:30 **冤罪に利用された科学者の知見一大川原化工機事件を問うー** ZOOM併用 講師:高田剛弁護士(弁護士法人和田倉門法律事務所)、四ノ宮成祥さん(元防衛医科大学学校校長) パネリスト:大川原正明社長 司会:島藺進さん(東京大学名誉教授) 会場:全国教育文化会館エデュカス東京地下AB会議室(東京メトロ有楽町線麴町駅5番出口徒歩5分) 参加費1000円(現地参加及びZoomとも) 後日期間限定の逃がし発信あります。参加希望者は現地、Zoomとも下記に必要事項明記の上、8月8日までに申込みください。申込み先:E-mail jreikochan@yahoo.co.jp 必要事項は名前、職業、電話番号、メールアドレス またはこちらから→<https://forms.gle/JEAtDadAUFhF7DYr5> 現地参加人数は70名に限らせていただきます。Zoom参加の方は事前下記へお振込みください。郵便局からのご送金の場合 口座番号10290-70860881 他行からのご送金の場合 ゆうちょ銀行028 店(ゼロニハチ)普通7086088 口座名義 神野玲子 アドレスに返信確認メールをお送りします。アドレスの確認をもう一度お願いします。当日の詳細案内:Zoom参加申し込みの方には8月8日頃にZoomのURL等案内します。主催:ゲノム問題検討会議 <https://www.gnomeke06.net/> 問合せ:神野玲子E-mail jreikochan@yahoo.co.jp 090-2669-0413
- ☆8月12日(月・休)14:00～15:30 **第18回辻堂文化9条の会総会** 第1部:横浜のノースドック米軍基地の歴史と揚陸艇部隊配備反対の市民運動 講師:後藤仁敏さん(鶴見大学名誉教授、九条かながわの会事務局共同代表) 1600～ 第2部:総会 会場:藤沢市役所本庁舎5階第3会議室(JR藤沢駅北口徒歩5分) 主催:辻堂文化9条の会 問合せ:090-3087-7264(渡辺)
- ☆8月10日(土)14:00～16:00(開場時間:13:30) **第22回「日本の科学者」オンライン読者会** 主題:日本における介護福祉の貧困化と政策課題 開催方法:オンライン(Zoom Meetingによる) ゲスト:新井康友さん(佛教大学) 関連論文:『日本の科学者』2024年7月号 参加申込み・問合せ:編集委員会(mail@jsa.gr.jp)
- ☆8月15日(木)18:15～ **終戦記念日特別映画会 「日本の一番長い日」(岡本喜八監督)** 会場:横浜健康福祉総合センター8階(桜木町駅徒歩3分) 入場無料 問合せ・主催:日中友好協会神奈川県連 問合せ:045-663-0041
- ☆8月17日(土)14:00～16:00 **平和への思いを語る会** 会場:大井町生涯学習センター第1・2会議室(JR上大井町駅徒歩12分) 第1部 原爆朗読劇「夏の雲は忘れない」上演 第2部 平和への思いを語る 参加無料 定員50人 主催:大井九条の会 問合せ:0465-83-2358(二上さん)
- ☆8月18日(日)14:00～16:00 **伊藤千尋さん講演会「ウクライナ、パレスチナ、日本に平和を! 私たちに何ができるのか」** 会場:逗子文化プラザなぎさホール(京急線逗子駅徒歩5分) 入場料:前売り1000円、当日1200円、高校生以下無料 主催:逗子・葉山九条の会 後援:神奈川県みなみ医療生協 問合せ:

富塚 (046-878-6044)、三羽 (090-7405-3282) チケット売り場：逗子葉山文化プラザ、陰陽洞、たらば書房 (鎌倉駅西口)

☆8月20日(火) 18:30~20:00 (予定) **学習会：防災・減災、被災者支援における自治体。住民の役割、あり方** 会場：神商連会館 4F 会議室 (JR 東神奈川駅から徒歩 5 分) *オンライン (ZOOM) 併用 ミーティング ID : 881 2854 9223 パスコード : 298117 講師：室崎益輝 (神戸大学名誉教授) 報告：県政における防災のとらえと課題 (日本共産党県議団) 参加費：無料 *事前申し込みの必要はありません 主催：平和で明るい神奈川県政をつくる会 問合せ：神奈川労連 (山田) TEL:045-212-5855 メール：info@kanagawa-rouren.jp

☆8月22日(木) 13:00~ 「**平和・立憲・人権をつなぐ全国自治体議員会議 (平和・立憲会議)**」設立 10 年 **総会・記念講演会** 13:00~ 総会、14:30~ 記念講演会、18:30~ レセプションパーティー (会費 5000 円) 会場：大分コンパルホール (大分県大分市) オンライン (Zoom) 併用開催：参加 Zoom ミーティング <https://us06web.zoom.us/j/83254977116> ミーティング ID : 832 5497 7116

☆8月24日(土) 13:30~25日(日) 15:30 **第39回原子力発電問題全国シンポジウム 2024 敦賀 テーマ：原発のない社会づくりのための検証と展望** 主催：日本科学者会議 (JSA) 原子力問題研究委員会、主管：JSA 福井支部 第1日 8月24日(土) 午後 13:30~原発サイト見学 その夜：交流会 18:00~ (ニューサンピア敦賀にて) 第2日 8月25日(日) 9:30~15:30 会場：ニューサンピア敦賀 参加方法：参加の申込みフォームに記入の上、返信していただくか、添付の Word 書類に記載の上、メールなどでお送りいただければ幸いです。Zoom で参加されるみなさんは、下記から登録をお願いします。 <https://us06web.zoom.us/meeting/register/tZUkc-2spjIoGdJFFRjL2JU45h5FR21ETC10> YouTube で視聴されるみなさんは、「第39回原子力発電問題全国シンポジウム 2024」で検索してください。

☆8月31日(土) 14:00~ **関東大震災朝鮮人・中国人虐殺 101 年犠牲者追悼大会** 会場：文京区民センター 3A (地下鉄春日駅 A2 出口徒歩 2 分、丸ノ内線後楽園駅 4B 出口徒歩 5 分) 参加費 1000 円 主催：実行委員会 連絡先：関東大震災中国人受難者を追悼する会 (080-1142-2515)

☆9月6日(金) 13:30~ **神奈川革新懇夏の交流集会** 会場：川崎市総合自治会館ホール (武蔵小杉駅徒歩 3 分) 全体集会：情勢と問題提起 分散会 8 会場：全員発言 参加費 500 円 申込み・主催：神奈川革新懇 (080-5931-8179)

☆9月15日(日) 13:00~17:00 **第19回シンポジウム：歴史教科書・いままでとこれから 中学歴史教科書問題と高校歴史教育の課題** 会場：早稲田大学早稲田キャンパス 7 号館 307 教室 (地下鉄早稲田駅徒歩 5 分、オンライン併用) 参加費：一般 1000 円、学生・院生 500 円 報告者：糺谷陽子、高野晃多、渡邊綾花、井ノ口貴史、風間洋 主催：歴史学研究会、子どもと教科書全国ネット 21、ほか 連絡先：歴史教育者協議会 (090-8100-1038)

☆9月16日(月・祝) 13:00~15:00 **さよなら原発全国集会命をつなぐ地球環境を** 場所：代々木公園 (JR 山手線原宿駅) 13 時 オープニングライブ トークライブ 15 時 パレード (渋谷方面、原宿方面) 主催：実行委員会、「さよなら」原発一千万署名市民の会 問合せ：03-5289-8224

☆9月21日(土)、28日(土)、10月19日(土)、10月26日(土) 9:30~12:30 **日本体育大学法学研究室 (清水雅彦) 主催 憲法市民講座** 会場：日本体育大学横浜・健志台キャンパス百年記念館 (1 号館 3 階 1301 教室、10月26日は 4 階 1402 教室、東急田園都市線青葉台駅から東急バス日体大行き) 講師：清水雅彦 (日本体育大学教授、憲法学) 費用は無料 参考文献：清水著『憲法入門』(大月書店) 問合せ：日本体育大学法学研究室 (045-963-7941)

☆11月23日(土)~12月8日(日) **第25回総合学術研究集会：平和で豊かな地球を子や孫に伝えるために一市民として科学者として今、私たちにできること** 11月23日：全体会 1, 2, 3、11月24日：分科会 1, 2, 3, 4, 5, 6、11月30日：分科会 7, 8, 9, 10, 11, 12、12月1日：分科会 13, 14, 15, 16, 17, 18、12月7日：分科会 19, 20, 21, 22, 23, 24、12月8日：分科会 25, 26, 27, 28、全体会 4。主催：実行委員会 委員長 松田正久 (愛知支部)、副委員長 畑明郎 (研究企画部長、滋賀支部)、事務局長 前田定孝 (三重支部) 問合せ：25so-gaku@jsa.gr.jp

JSA 神奈川支部幹事会・発送作業：8月は幹事会はお休みで、今回は下記のとおり、9月17日です。
日時：9月17日(火) 14時30分から16時 14時30分から15時まで発送作業、15時から16時まで幹事会 会場：かながわ総研事務所 (横浜市中区不老町 1-6-9 第1HBビル5階、1階に「牡丹飯店」という中華料理屋のあるビルの5階です、JR 関内駅西口徒歩 3 分)
連絡先：飯岡ひろし (携帯：080-1987-0994、E-mail：jsa.kanagawa(at)gmail.com)

次号の原稿の募集：近況、論説、報告、旅行記、論評、自著紹介、書評、その他、原稿をメールまたはファックスでお寄せください。毎月10日ごろの締め切り、15日ごろの発送です。
送り先：後藤仁敏 (E-mail：goto(at)kd5.so-net.ne.jp、Fax：045-894-1052)